



Japan Mobility Show

ジャパンモビリティショー2025
Out of KidZania in JMS2025 参加ガイド



一般社団法人日本自動車工業会
JAPAN MOBILITY SHOW 事務局



JAPAN MOBILITY SHOW について

1954 東京・日比谷公園で第1回「全日本自動車ショー」として開催。当時は乗用車よりもトラックやバスなどの商用車であり、また自動車一般家庭に普及しておらず、自動車の展示が珍しかったため、多くの来場者を集めた。

1955 第2回開催

1956 第3回開催

1957 第4回開催
「PRセンター」にて自動車デザインを取り上げ、「自動車なんでも相談室」を開設、宣伝の場から商談の場へと進化を遂げた年であった。

1958 第5回開催

1959 第6回開催

1954~
歴史の始まり

1960~

1970 第17回開催。1954年から毎年開催される。はじめて輸入車が本格的に参加。インターナショナルショーとしてデビューをした。

1964 第11回開催
これまでの「全日本自動車ショー」を「東京モーターショー」に改める。東京オリンピック開催を契機に、国内のインフラ産業の発展が加速し多様な車両が紹介されるようになる。

1963 第10回開催

1962 第9回開催

1961 第8回開催

1960 第7回開催

1971 第18回開催

1972 第19回開催

1973 第20回開催
記念すべき20回開催と共に2年に1回のイベントへと変化した。

1975 第21回開催

1977 第22回開催

1979 第23回開催
1970年代には日本車が世界市場で急速に認知され始め、東京モーターショーも国際的なイベントとして注目されるようになった。日本の自動車メーカーは省エネ技術や排ガス規制に対応したエコカー技術に注力し燃費向上技術が展示。

1970~
国際的な発展

未来的なコンセプトカー

1980~

1989 第28回開催

平成へと年号が変わったこの年、東京モーターショーは第6回以来、30年来的開催地、晴海から千代田・幕張メッセへと会場を移した。同施設のこけら落としイベントとなった第28回ショーのテーマは「自由走。ハートが地球を刺激する」。

1987 第27回開催

1985 第26回開催

1983 第25回開催

1981 第24回開催

1991 第29回開催

「発見、新関係。人・くるま・地球。」がテーマ。来場者数は東京モーターショー史上はじめて200万人を突破したが、15日間への期間変更や開場時間の延長により、来場者そのものの分散化が図られた。課題を克服しつつあった電気自動車も注目された。

1993 第30回開催

1995 第31回開催

1997 第32回開催

1999 第33回開催

1990年代になると東京モーターショーは環境問題やエネルギー効率を大きなテーマとなり、ハイブリッドカーや電気自動車などの環境対応車両が注目を浴びた。1997年にはトヨタがプリウスを発表し、ハイブリッドカーの実用化が進むと同時に、多くの自動車メーカーがエコカー市場に参入しました。

1990~

近代化と環境対応

IT技術の進化
2000~

2009 第41回開催

2007 第40回開催

「新・総合ショー」として、10年ぶりに開催形態を変更し開催され、エンターテインメント性を高めた参加・体験型の特別イベントを充実させ、来場者に「クルマの夢、楽しさ、素晴らしさ」を体感いただいた。

2005 第39回開催 1954年の第1回全日本自動車ショーから50年という節目の年に開催された第39回

2004 第38回開催

2003 第37回開催

2002 第36回開催

2001 第35回開催

2000 第34回開催

2011 第42回開催

これまで行っていた幕張から東京ビックサイトへ開催場所を変更。

2013 第43回開催

2015 第44回開催

2017 第45回開催

2019 第46回開催

自動運転やAIの活用など、次世代の技術に焦点を当てた展示が増え、この時期、電動化とともにカーシェアリングやMaaS (Mobility as a Service) の概念も注目され、自動車産業の枠を超えたモビリティの未来が議論されるようになりました。

2010~

デジタル革命と自動運転

Japan Mobility Show
Bizweek

企業同士をマッチングさせて事業共創を加速させる、ビジネスイベント

Meef-up Box



2024

未来を創る、仲間づくりの場

2023 Japan Mobility Show

東京モーターショーから
JAPAN MOBILITY SHOWへ

ワクワクする未来を、創出していくための
『共創プラットフォーム』として始動



2025

第48回目となる2025年ショーテーマ
「ワクワクする未来を、探しにいこう！」

Japan
Mobility
Show

第1回:1954年 - 第46回:2019年
TOKYO MOTOR SHOW

『自動車の総合展示会』



東京モーターショー
のDNAを引き継ぎ

Since:2023年

Japan Mobility Show

ワクワクする未来を、創出していくための

『共創プラットフォーム』

モビリティ社会に向けて
未来の共創

豊かで夢のある
モビリティ社会へ

モビリティ
の魅力訴求

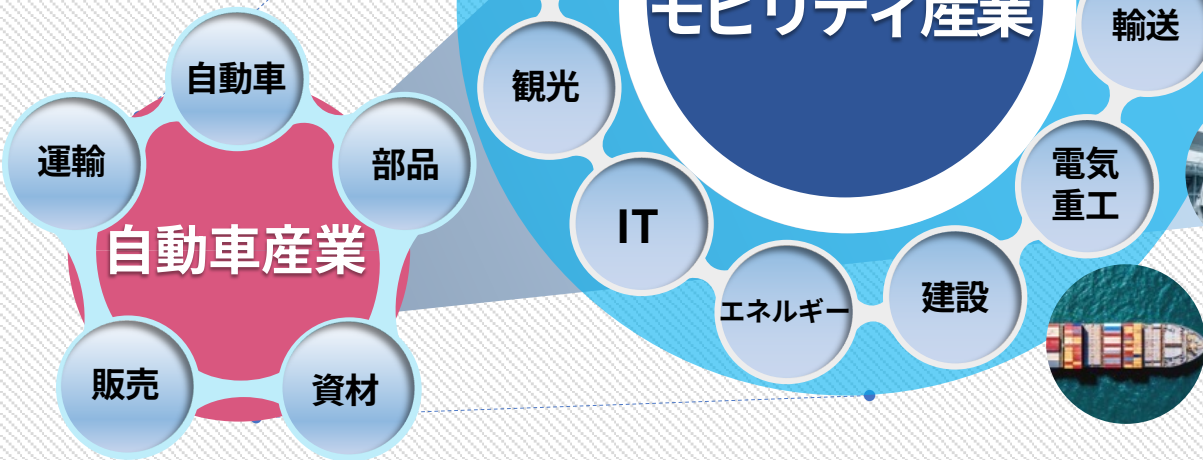
産業・機能・体験
多角的な魅力訴求

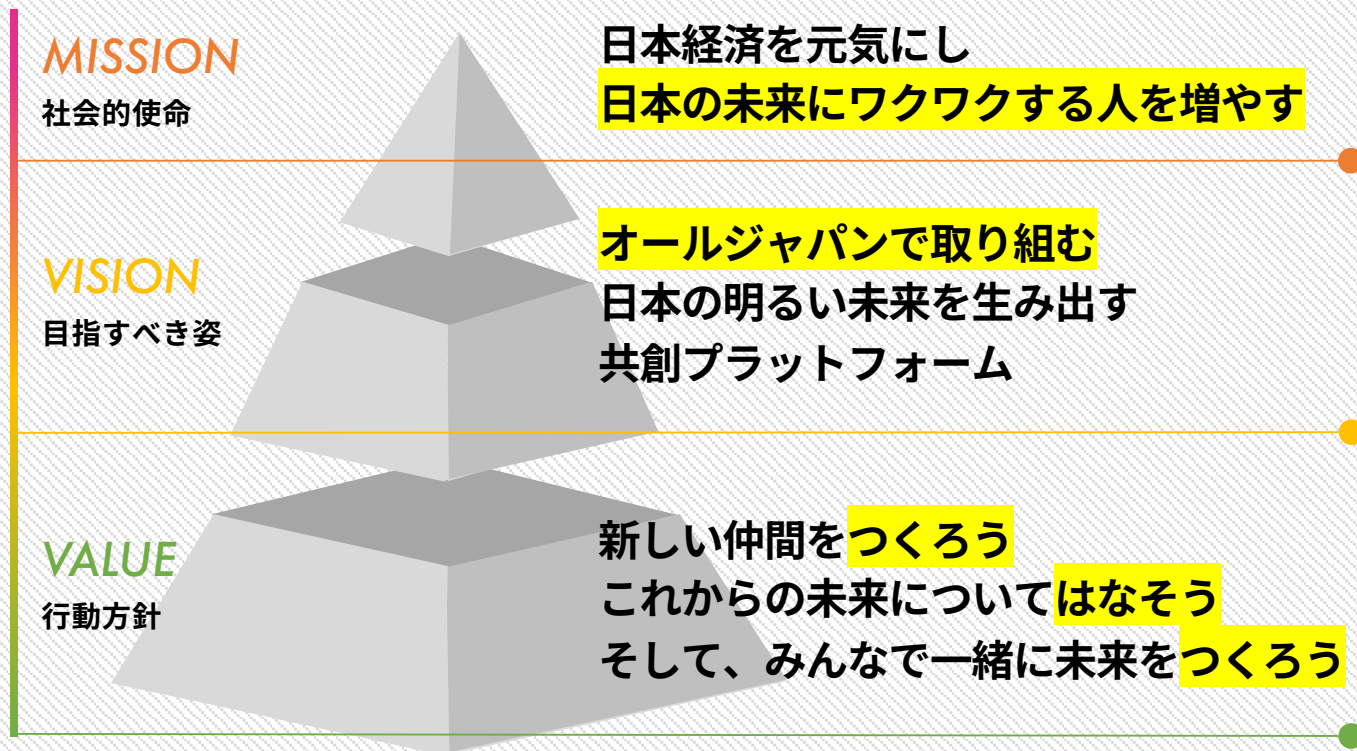
新しい仲間

スタートアップ
他産業の巻き込み

モビリティ産業 の拡張

オールジャパンで
モビリティ産業を成長させていく





ビジネスイベント

Japan Mobility Show Bizweek

モビリティ社会構築に向けて
企業同士の連携強化を図るコミュニティイベント

『未来を創る、仲間づくりの場』

ターゲット

- 2B：モビリティ関連事業社
- 2C：モビリティ事業者/モビリティ情報をいち早く感じたい人

交互に実施

ショーケースイベント

Japan Mobility Show

ビジネスイベントでの企業同士の繋がり継続と
生活者へモビリティの未来を伝えるショーイベント

『未来のワクワクを、探しにいく場』

ターゲット

- 2C：未来のモビリティシーンをいち早く感じたい人
- 2B：これから仲間になる新たなモビリティ関連企業

ビジネスマッチングプラットフォーム

Meet-up Box



ビジネス商談

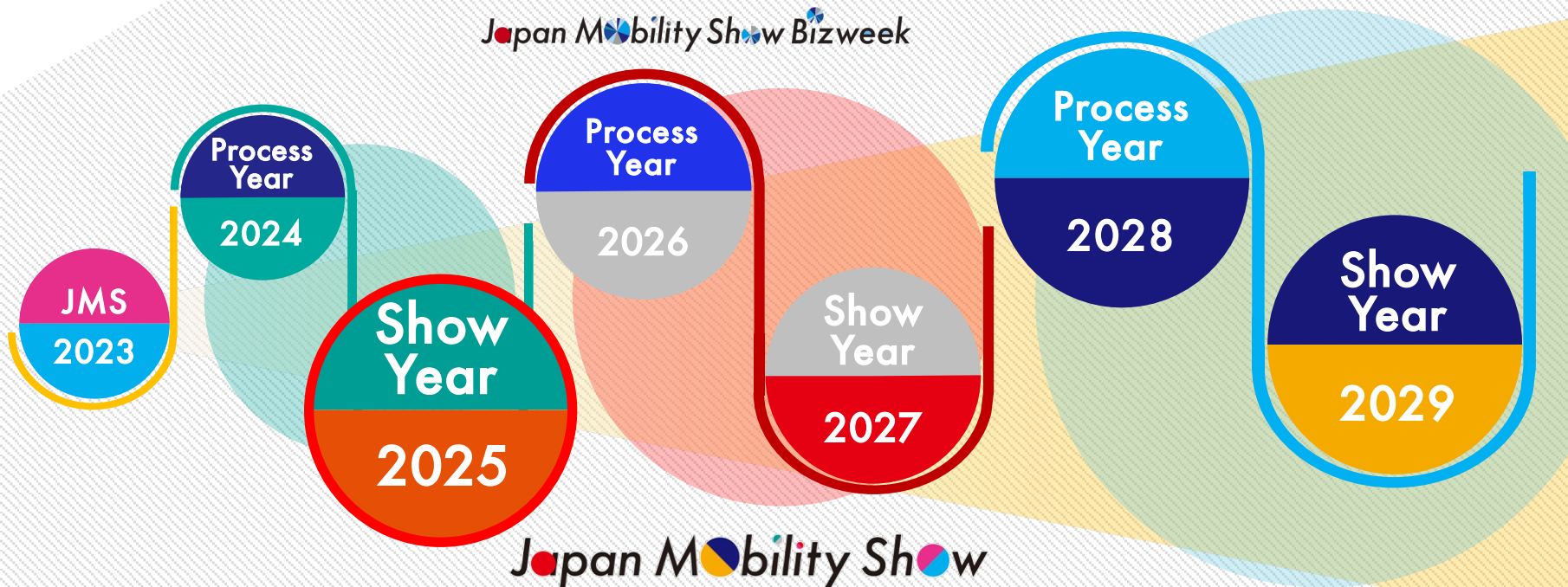


ビジネス共創

未来のモビリティ社会構築に向けて実態あるビジネス共創を推進する企業同志の集まる場

2年をワンパッケージにした継続的な活動として毎年開催

Japan Mobility Show Bizweek





JAPAN MOBILITY SHOW

2023 / 2024 実績

Tokyo Future Tour

(モビリティの未来実演ショー)



モータースポーツ

(屋内・屋外)



e-Motor sports



Personal Mobility Ride

(屋外)



軽トラ市



Japan Future Session

(トークショー)



Startup Future Factory

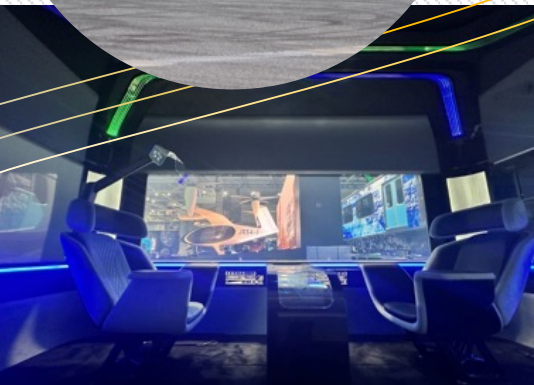
(スタートアップ企業)



2023年の様子はこちら：<https://2023.japan-mobility-show.com/gallery/>



2023年の様子はこちら：<https://2023.japan-mobility-show.com/gallery/>



Japan Mobility Show
Bizweek 2024

事業会社とスタートアップによる
ブース出展
Find New Business Partners



車両展示



ビジネスマッチング
Promotion of corporate
co-creation



Meet-up Box

スムーズで効率的な
商談が可能に！



未来モビリティ会議
Discussions for Our Future



Future Mobility Forum

Japan Mobility Show Bizweek



Japan Mobility Show

2023年実績

- 会期：23年10月26日(木)-11月5日(日)
- 会場：東京ビッグサイト

参加企業数	約 500 社 過去最高を記録	スタートアップ 約100社	主催者企画の参加 約200社
来場者数	約 111 万人 来場者属性		
	29歳以下男女 39.1%	就労比率 77.5%	新規来場率 22.4%
	東京23区居住 36.6%	家族/友人 74.2%	外国籍 4.2%
メディア露出	約 23,000 件	各メディア露出内訳 TV番組：約300件 新聞：約1700件 WEB：約21,000件	来場プレス数 約10,000人
経済効果	約 1,000 億円		
マッチング件数	430 件		

Japan Mobility Show Bizweek

2024年実績

- 会期：24年10月15日(火)-10月18日(金)
- 会場：幕張メッセ CEATECと併載

参加企業数	203社	事業会社 58社	スタートアップ 145社
	重工業・建設業・電気・IT・情報・通信産業などの新規企業も参加		
マッチング件数	約900件	→	事後アンケートでの推計値 約2,000件
商談件数	約400件	→	事後アンケートでの推計値 約1,700件
業務連携	約100件ほど発生中（アンケートでの推計値）		
メディア露出	約1,400件		
	Meet-up Box		
登録企業数	約1,000社	事業会社：450社 スタートアップ：300社 その他：250社・団体	
登録事業数	約2,000件	※24年11月時点	

2023年：約23,000件

メディア露出

2024年：約1,400件

Japan Mobility Show

Japan Mobility Show Bizweek



補足)

2023年：報道・情報番組・エンタメ関連など様々な切り口で取り上げられた

2024年：報道・経済番組を中心に取り上げられた



JAPAN MOBILITY SHOW 2025

開催概要

開催期間：2025年10月29日(水) — 11月9日(日)

開催会場：東京ビッグサイト（東・西・南展示棟）

※大規模修繕工事対象ホール（東1・3ホール）を除く全館利用



日程	曜日	開催時間	名称
2025/10/29	(水)	8:00 - 18:00	プレスデー
2025/10/30	(木)	8:00 - 13:00	
		13:30 - 18:00	オフィシャルデー (オープニングセレモニー等招待者)
2025/10/31	(金)	9:00 - 19:00	特別招待日／ 障がい者手帳をお持ちの方の特別見学日
		13:30 - 19:00	一般公開日 (9:00 ～ 10:00は、入場可能な特別チケットをお持ちの方のみ入場可能)
2025/11/1 2025/11/9	(土)	平日 : 10:00 - 19:00 土曜／祝日 : 9:00 - 19:00	
	(日)	日曜 : 9:00 - 18:00	

Japan Mobility Show

ワクワクする未来を、探しにいこう！

様々なモビリティ関連企業のブース出展に加え、
多くの来場者を楽しんでいただける、3本の柱を中心にした多面的なプログラムを企画中

1 「未来のワクワク」醸成プログラム

#FUTURE

- 役割 -

「モビリティの**未来の姿**」

- 目的 -

未来におけるモビリティの活躍する姿を通して、
日本の未来にワクワクを感じてもらい
JMS全体や世の中への共創機運の醸成

2 「モビリティカルチャー」共感プログラム

#CULTURE

- 役割 -

「モビリティ**そのもの**」

- 目的 -

四輪・二輪をはじめとした様々なモビリティ
の魅力に焦点をあて、モビリティ自体が
もたらしてくれる価値への共感

3 「ビジネス共創」推進プログラム

#CREATION

- 役割 -

「モビリティの**ビジネス**」

- 目的 -

日本経済を明るい方向へ向けていくために
モビリティ産業発展に資する仲間づくりと
企業間の共創を推進

お子様やご家族と一緒に楽しんでいただけるモビリティの総合イベント

#FUTURE



#CULTURE



#CREATION



#KIDS



#FOOD



#EXHIBITION





従来の部門に加えて、IT・情報・通信・公共交通・インフラ
などの出展部門「モビリティ関連部門」を新設



参加メニューの紹介

より多くの企業・団体の皆様と一緒に未来を創るきっかけとして、
また、ご来場の皆様とご参加の企業・団体の皆様がより強くつながるために、
会場全体をつなぐ役割として、多面的な主催者プログラムを実施いたします。

#FUTURE

**Tokyo
Future
Tour 2** (仮)

#CULTURE

**Mobility
Culture
Area** (仮)

#CREATION

**Startup
Future
Factory** (仮)

#KIDS

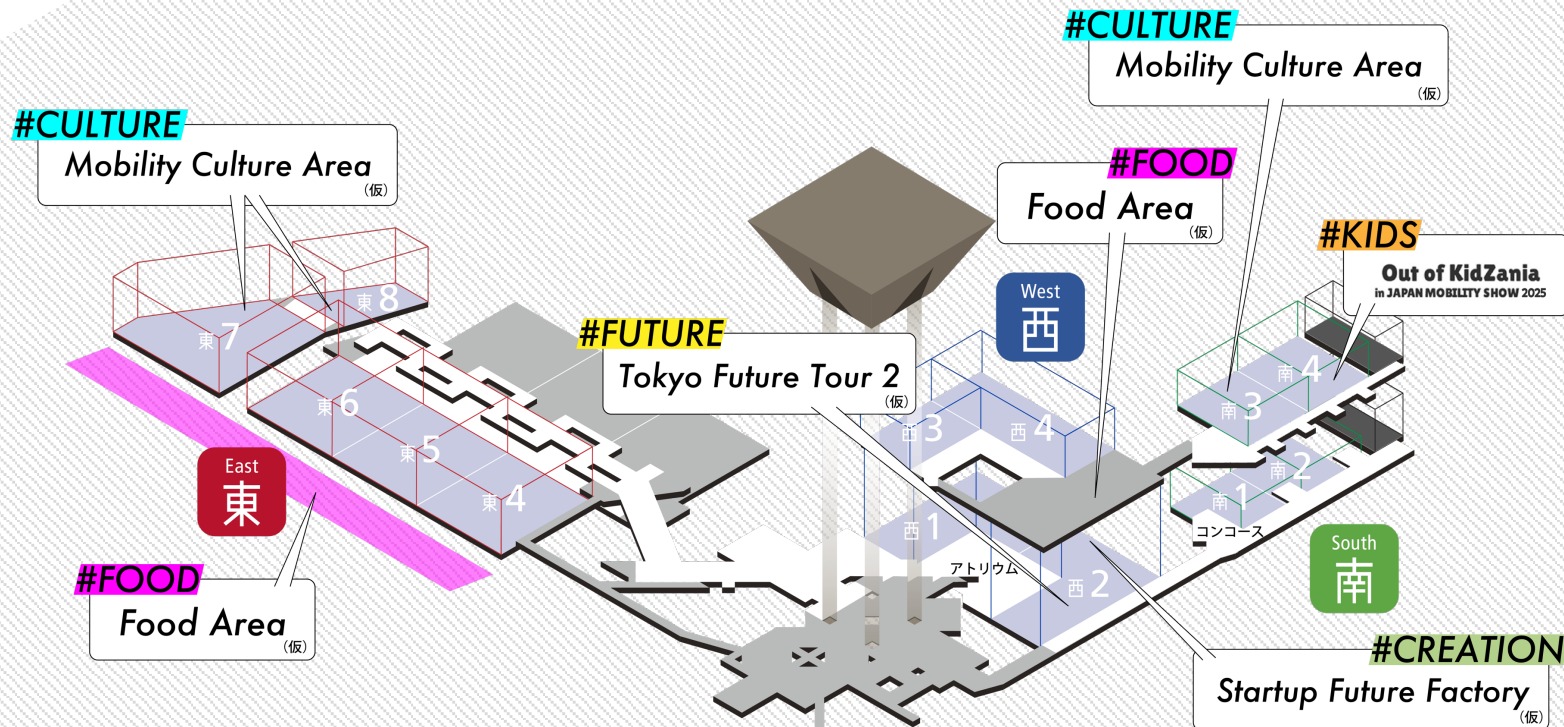
Out of KidZania
in JAPAN MOBILITY SHOW 2025

#FOOD

Food Area (仮)

会場

各主催者プログラム実施エリア（予定）



Out of KidZania in JMS2025

こども達に「クルマ・バイク本来の楽しさ」や「未来のモビリティ社会」への夢、ものづくりの魅力を体験いただくパビリオン

Out of KidZania in JMS2025 出展

ファミリー層に人気のこども向け職業・社会体験施設「キッザニア」との特別コラボレーション。

次世代を担う子どもたちに向けた各社各様の職業体験ブースを出展いただき、

『人・モノ・コトの移動』に関する、様々な体験を提供し、社会へ対する好奇心や夢を抱く心を育みます。

募集要項

実施概要

●実施日程：2025年10月29日(水) - 11月9日(日) / ●実施場所：東京ビッグサイト 南展示棟（予定）

●予定体験人数：10,000名 / ●対象者：小学生および未就学児（※プレスは別途対応） / ●体験料：無料（予定）

□ 展示面積：全体（共通通路含む）で2,000～3,000㎡程度を想定 / 1社あたり50～100㎡程度

□ 出展料：自工会・共催団体会員又は組員 **575,700円／小間（税込）**

※1小間：約9㎡（2.97m×2.97m）を基準にスペース渡し

会員外の企業または団体 **695,400円／小間（税込）**

□ 共同施工費：**330,000円／小間（税込）**

※出展料の請求時に合わせて請求させていただきます。

共通ファサードのデザイン／制作／施工は、事務局にて一括して行います。出展者にはこれに係る費用として上記をご負担いただきます。

About KidZania

APPENDIX



働くことの楽しさを体感し、
自分の興味・趣向が見つかる！

Pavilion

約 60 個の
バビリオン

= 仕事やサービスの「体験場所」

ex. 病院

Activity

約 100 種類の
アクティビティ

= 仕事やサービスの「体験内容」

ex. 医師、看護師、救急救命士

キッズニアは3歳～15歳のこどもを対象とした職業・社会体験施設。世界各地で展開され（17か国26か所※2023年3月現在）、日本国内には「キッズニア東京」「キッズニア甲子園」「キッズニア福岡」の3施設がある。
現実社会の約3分の2サイズの街並みに、実在する企業が出展するバビリオンが建ち並び、さまざまな仕事やサービスを体験できる。
仕事体験後、給料としてキッズニアの専用通貨「キッソ」を受け取ることができ、施設内での買い物や銀行への預金などリアルな経済活動を通して、楽しみながら社会のしくみを学ぶことができる。

※自動車メーカーは、三菱自動車が出展

（運転免許試験場※三施設共通、レンタカー※東京・甲子園、カーデザインスタジオ※東京・福岡、自動車工場※甲子園のみ）

About KidZania

APPENDIX

職業・社会体験を通して子ども達の生きる力を育む



Location Map



キッズニアは、全国**3ヶ所**にある**3～15歳**の子ども達が楽しみながら職業・社会体験ができる屋内型施設です。

実社会の約2／3サイズのリアルな街並みの中で、約**100種類**の仕事やサービスなどが用意されており、専用通貨「キッソ」を稼ぐ、貯める、使うといった経済活動も、子ども達が能動的に行っています。キッズニアでの体験は、高い教育的要素も期待されており、学校の課外授業としても多く活用されています。

楽しみながら、社会の仕組みを学ぶことができる「子どもが主役の街」



エデュテインメントとは、英語で教育を意味するエデュケーション（education 学び）と、エンターテインメント（entertainment 楽しさ）を組み合わせた造語のことです。

キッズニアでは、エデュテインメントを、単に「楽しく学習」するものにとらえるのではなく、**楽しさの中に「学び」や「気づき」があるもの**として考えています。まずは、子ども達にキッズニアで楽しく遊んでもらうこと。そして、体験を通して自ら気づき、学んでくれることを目指して、より良いエデュテインメント・タウンに進化・発展させるべく、日々活動しています。

スケジュール

申込み受付開始 2024/12/13 (木) 10:00～

出展申込〆切

3/31 (月) ～17:00

出展受理メール送付（出展申込・契約完了）

出展確定

出展料請求書送付（郵送）

出展料払込期限

5/30 (金) ～17:00

※上記スケジュールは、今後変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください。

Out of KidZania in JMS2025

お申込みはこちら

申込フォーム



(24年12月13日より申込み開始予定)



Out of KidZania in JMS2025 に関するお問い合わせ

JAPAN MOBILITY SHOW 2025 企画コンテンツお問い合わせフォーム

以下URLよりアクセスいただき、質問項目にご記入の上、フォームよりお問い合わせください。

<https://forms.office.com/r/7yRxb9aYCM>

※お問い合わせをいただいた日より3営業日以内にご連絡をさせていただきます。

お問い合わせ内容によっては、回答にお時間を頂戴する可能性がありますので、予めご了承ください。

※当事務局からのメールが届いていない場合は、

support@jms2025.com からのメールを受信できるよう設定していただき、再度ご連絡をお願いいたします。